

先輩移住者インタビュー

株式会社ゆめある ^{ひるき}比留木 ^{たけやす}武泰さん(42歳)、^{けいこ}恵子さん(38歳) (R2.2月現在)

(一之宮地域へ移住)

H29年に愛知県名古屋市から一之宮地域に移住。武泰さんは子ども向けのアプリや動画の開発、恵子さんはネットショップ売上アップアドバイザーとして飛騨の美味しいものを広く情報発信しています。

Q、移住したきっかけは？

武泰さん：一之宮地域が市街地から電車で1駅の場所で自然が豊かということ、妻が以前、高山に住んでいたことも移住のきっかけです。会社の事業転換に伴って現場での打ち合わせ回数も減り、そのことが移住を後押しする形にもなりました。ここでは自分のペースでアプリや動画の開発ができるのが魅力です。

恵子さん：もともと旅行で何度か訪れており、利用した民宿の女将さんがとても優しかったのが強く印象に残っていました。以前に数年間、高山に住んでいたこともあり、子どもがちょうど小学校に入学するタイミングだったので、それに合わせて移住を決めました。

Q、移住して良かったこと、大変だったことは？

武泰さん：移住してから、高山市内にSNS、飛騨高山ウルトラマラソン関係でどんどんマラソン仲間が増えました。ウルトラマラソンの練習も仲間と一緒にできるのは嬉しいですね。山が近くにあるので、最近ではトレイルランも始めました。普段は天候を見ながら、仕事の前後に走っています。そういったことをすることで心のゆとりができたのか、走っている時に仕事のアイデアを思いつくことも多いですね。自分たちの移住については、マイナス要素よりもプラス要素が多いです。

恵子さん：最初の1年目は雪の量にびっくりしましたが、今は慣れました。大家さんが野菜をくれたり、地域のコミュニティ食堂で地域の方に料理を習ったりと、ほどよい近所付き合いが楽しいです。名古屋にいたときは幼稚園の園庭が狭くて窮屈な感じがしていましたが、今、子どもが通っている小学校の校庭は広々としていていいですね。たまにイオンが恋しくなりますが(笑)。

Q、高山のおすすめスポットは？

武泰さん：パワースポットと言われている位山ですね。

恵子さん：疲れていると、猫カフェに行って、猫と戯れて癒されています。

Q、これからの夢は？

武泰さん：自分が主催者として一之宮地域でマラソンのイベントをしたいと考えています。マラソン仲間、大募集です！また、将来的には一軒家を持ちたいですね。

恵子さん：一之宮地域へ移住してくれる人をもっと増やしたいので、インターネットなどを活用してこの地域の良いところを情報発信していきたいです。自分自身が商品の魅力を伝えるのが好きなので、飛騨の味を多くの人に知ってもらいたいと思っています。飛騨の味は一過性のもではなく、長い歴史や文化の中で飛騨の人たちがおいしいと思って大事に継承されてきたものなので、そういった背景も含めて、この地域の商品の良さなどを広く伝えていきたいですね。

Q、高山へ移住を検討されている方へのアドバイス！

とりあえずアパート暮らしから始めるといいかもしれません。私たちも今はアパート暮らしですが、将来的には一軒家に移りたいと考えています。また、何回か通って友達をつくって、それから移住をすると暮らし始めてからもスムーズですね。移住者交流会に参加して知り合いを増やすのもいいかもしれません。

